

arara

2023年8月期第1四半期 決算説明資料

アララ株式会社
東証グロース：4015

2023年1月13日

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 報告セグメントの変更
3. 決算ハイライト
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 報告セグメントの変更
3. 決算ハイライト
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

バリューデザインとの経営統合により、1Q連結売上高は 前期通期単体売上高1,165百万円を上回る1,245百万円を計上

キャッシュレスサービス事業・ソリューション事業ともに売上高は増加。キャッシュレスサービス事業における決済手数料等の経常収益の増加に加え、マイナポイント関連の手数料売上高増加とバリューデザインの決算期変更に伴う変則決算（バリューデザインは5か月決算）の影響による。

経営統合による効果が1Qから現れ、EBITDAが想定よりも 上振れ81百万円を計上

2023年8月期1QのEBITDAは、赤字予想であったが、経営統合による組織再編などが功を奏し、売上増の効果に加え、販管費の削減効果等があらわれている。

首都圏最大規模の食品スーパーマーケットが展開する レジに並ばず決済できるセルフスキャンアプリとの連携

2022年2月期の売上高7,000億円超、527店舗を展開するユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス（U.S.M.H）社が展開する、セルフスキャンアプリ「Scan & Go ignica」とバリューデザインの独自Payが連携。店舗の省人化、クレジットカード手数料削減に貢献。

2023年8月期1Q 連結業績概況

売上高／前年同期（単純合算）比

1,245百万円 / **+496**百万円

- 前年同期比は、当社とバリューデザインの前年度1Qの売上高の単純合算との比較。前年同期比で+66%増加
- 2022年8月期1Q（単体）277百万円比+348%増。増加要因は決済手数料等の経常収益増に加え、バリューデザインの決算期変更による影響及び、マイナポイント関連売上増による

EBITDA／前年同期（単純合算）比

81百万円 / **+111**百万円

- 売上高の順調な伸長及び、経営統合による販管費削減効果などにより想定を上回る結果

※アララとバリューデザインの前年度1QのEBITDAの単純合算との比較
 ※EBITDAは営業利益と減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）の合計

売上高進捗率／EBITDA進捗率

売上高進捗率

29.0%

EBITDA進捗率

27.3%

- 2023年8月期の業績予想は、売上高4,300百万円、EBITDA300百万円。売上高及び、EBITDAも想定を上回る進捗率

2023年8月期の予想EBITDAに対する進捗状況

2023年8月期の業績予想は、統合効果により徐々に利益が増加する計画。
1QのEBITDAは赤字の計画であったが実績は黒字化し、1Qの利益計画を大幅に上回って着地。

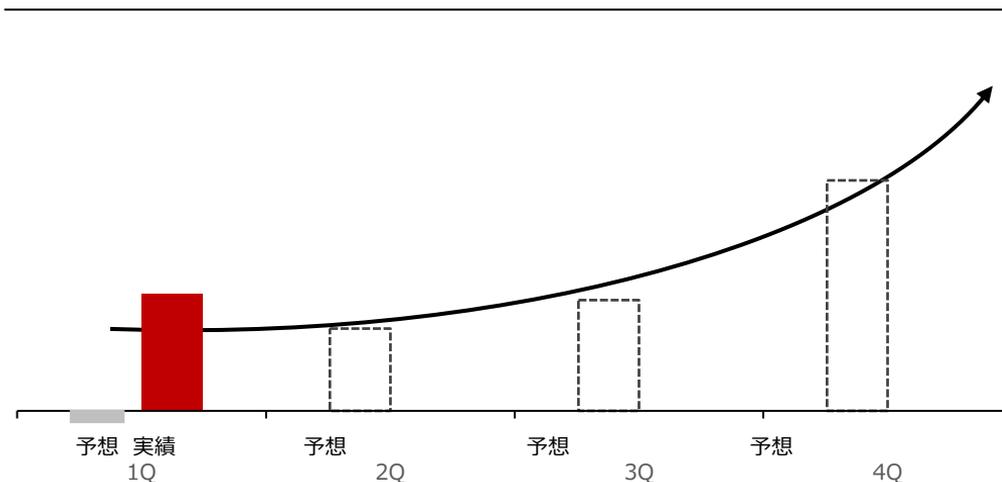
EBITDA (2023年8月期)



統合効果が徐々に
実現する計画



1Q利益計画を
大幅に上回る着地



(注) イメージ図は当社作成

2023年8月期1Q ビジネス概況 特定業種でのシェアトップ

2023年1月にアララのキャッシュレスサービス事業をバリューデザインに統合。

食品スーパー、飲食チェーンといった特定業種に特化し、当社の独自Payサービスの導入シェアを拡大。

特定業種

独自Pay
導入実績

No. 1

食品スーパー



240社以上

食品スーパー、食品ディスカунター、業務用食品スーパー、小型食品スーパーなど、独自Pay未導入企業を含む約1,000社のうち240社以上（約24%）の企業で採用。

飲食チェーン



12,500店舗以上

ファミレスをはじめ、和・洋・中レストラン、ファーストフードなどの独自Pay未導入企業を含む飲食チェーン店舗数ジャンル別上位10社、約48,000店舗を対象に算出。

(注) 当社調べ

2023年8月期1Q ビジネス概況 省人化、非対面決済サービスとの連携強化

首都圏最大規模のスーパーマーケットを展開するユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス（U.S.M.H）社が展開する、レジに並ばず決済できるセルフスキャンアプリ「Scan&Go ignica」とバリューデザイン[®]の提供する独自Payサービスが連携。

U.S.M.H社は首都圏最大規模

- マルエツやカスミ、マックスバリュ関東を傘下に持ち、2022年2月期の売上高 **7,000億円超**で首都圏最大規模のスーパーマーケットグループ
- 2022年12月1日時点の店舗数はグループ全体で527店舗と**首都圏最大規模**を誇る
- 「デジタルを基盤とした構造改革」の推進を重点施策として掲げ、積極的な投資を予定

Scan&Go ignicaアプリ内で独自Payを提供

- U.S.M.Hが開発した、レジレスでスマートな買物体験を提供するセルフスキャンアプリ「Scan&Go ignica」内の電子マネー「ignica money」に**独自Payを採用**
- 茨城県、千葉県、埼玉県を中心とする**カスミの142店舗**に導入
- 店舗にとっては、独自 Payの利用者を増やすことでクレジットカード等の**手数料削減**につながる

Scan&Go ignicaの利用イメージ



スマートフォンのアプリで商品バーコードをスキャンし、レジに並ばず商品購入が可能

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 報告セグメントの変更
3. 決算ハイライト
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

報告セグメントの変更

2023年1月にアララのキャッシュレスサービス事業を会社分割し、バリューデザインと統合完了。新たなキャッシュレスサービス事業として一体化。

ソリューション事業として、メッセージングサービス事業・データセキュリティサービス事業・その他事業（ARサービス）を集約。

2023年8月期以降の 報告セグメント



内訳：旧セグメント

- ・メッセージングサービス
- ・データセキュリティサービス
- ・その他

報告セグメント変更の理由

- 実態として一体で運営されているアララのキャッシュレスサービス事業とバリューデザインを同セグメントとして統合
- より適正な業績評価が行えるようになると判断したため、メッセージングサービスを含む事業をソリューション事業として集約

(注) 各売上高構成比は、アララの2022年9月～11月及びバリューデザインの2022年7月～11月（5か月間）を連結した変則決算における売上高1,245百万円を分母として算出。

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 報告セグメントの変更
- 3. 決算ハイライト**
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

2023年8月期1Q 業績概要（損益計算書）

連結子会社であるバリューデザインの決算期を8月末に変更したことから、2023年8月期1Qはバリューデザインの2022年7・8月を含んだ5か月間の変則決算を連結。

連結売上高は前年同期の単体比で+968百万円(+348%)増加、単純合算^{注2}比で+496百万円(+66%)増加。バリューデザインとの経営統合により規模が拡大し、今期から重要経営指標としているEBITDAも黒字化を達成。

	2022年8月期 1Q実績	2022年8月期 1Q実績	2023年8月期 1Q実績(連結 ^{注3})	2023年8月期 通期業績予想	主な要因
(単位：百万円)	(単体)	(単純合算 ^{注2})	前年同期比 (連結-単純合算)	(連結)	
売上高	277	749	1,245 +496	4,300	バリューデザインの22年7月～11月（5ヶ月間）を含む
EBITDA	▲ 15 ^{注1}	▲ 29	81 +111	300	
営業利益	▲ 24	▲ 56	▲ 31 +24	▲ 100	のれん償却費66百万円の影響を含む。経営統合による継続的な販管費削減効果も寄与
経常利益	▲ 29	▲ 64	▲ 36 +27	-	
当期純利益	▲ 1,285	▲ 1,319	▲ 26 +1,293	-	前期1Qは関係会社株式評価損の影響

(注) 1. 2022年8月期1Q実績のEBITDAは営業利益と減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）の合計

(注) 2. アララの2022年8月期1Q業績とバリューデザインの2022年6月期1Q業績を単純合算

(注) 3. アララの2022年9月～11月及びバリューデザインの2022年7月～11月（5か月間）を連結した変則決算

2023年8月期1Q 業績概要（貸借対照表）

2022年8月末から貸借対照表は大きな変化なく着地し、自己資本比率は36%程度を維持。

みずほ銀行からの借入金（2022年11月時点残高15億円）については、業績向上による今後の現預金変動や資本コストを考慮し返済に向けた選択肢を検討中。

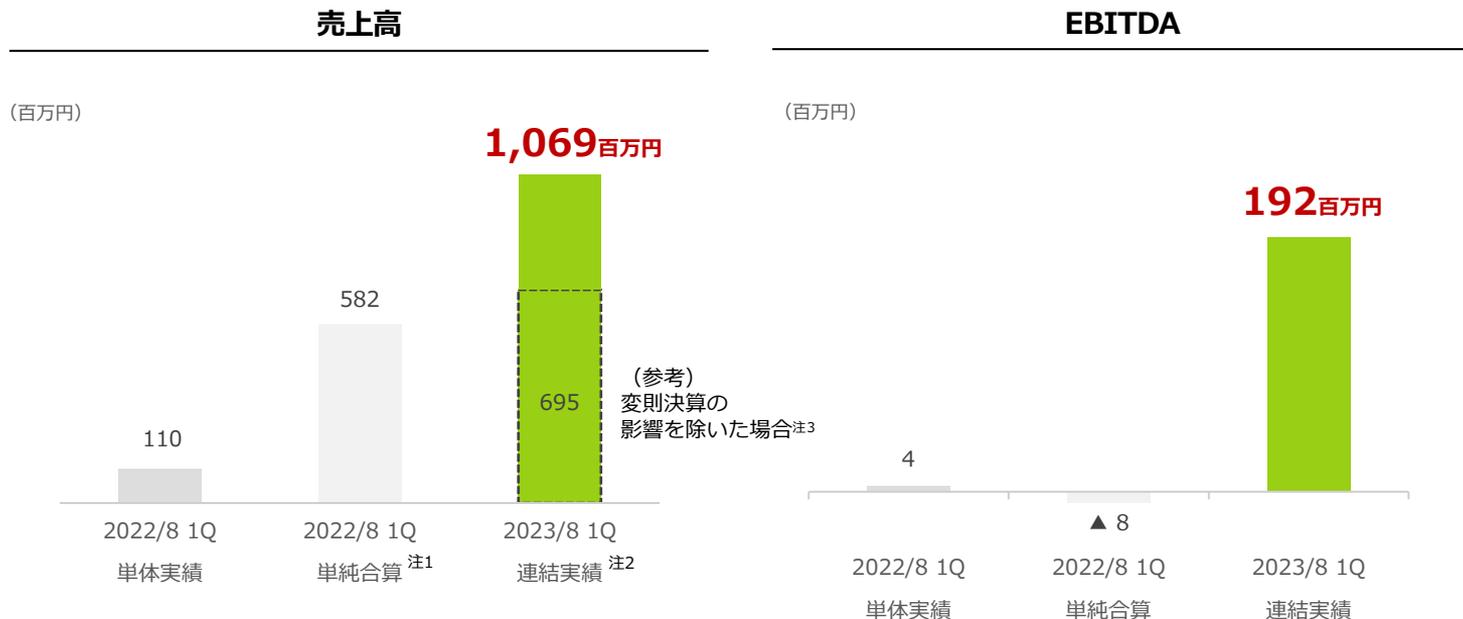
(単位：百万円)	2022年8月(連結)	2022年11月(連結)	前期末比
流動資産	1,776	1,810	+33
現預金	1,094	1,139	+45
売掛金	441	419	▲ 22
その他	240	251	+10
固定資産	2,079	2,031	▲ 47
無形固定資産	1,877	1,819	▲ 58
のれん	1,600	1,534	▲ 66
投資その他 ^{注1}	202	212	+10
総資産	3,856	3,842	▲ 14
流動負債	2,161	2,207	+45
買掛金	134	174	+40
借入金	1,630	1,630	-
その他	397	402	+4
固定負債	263	219	▲ 43
純資産	1,431	1,415	▲ 16

(注) 1. 有形固定資産を含む

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 報告セグメントの変更
3. 決算ハイライト
- 4. 事業別業績・指標**
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

2023年8月期1Q キャッシュレスサービス事業の業績

バリューデザインの7~11月の5か月間を連結する変則決算^{注2}とマイナポイントに関連する手数料売上高の増加等により、1Q売上高が前年同期の単体合算^{注1}と比較して+486百万円増加。EBITDAは前年同期比で+201百万円の増加。



(注) 1. アララの2022年8月期1Qにおけるキャッシュレスサービス事業の業績とバリューデザインの2022年6月期1Qの業績を単純合算

(注) 2. アララの2022年9月~11月及びバリューデザインの2022年7月~11月(5か月間)を連結した変則決算

(注) 3. アララの2023年8月期1Qにおけるキャッシュレスサービス事業の業績とバリューデザインの2022年9月~11月(バリューデザインの8月期決算ベースでの1Q)の業績を単純合算

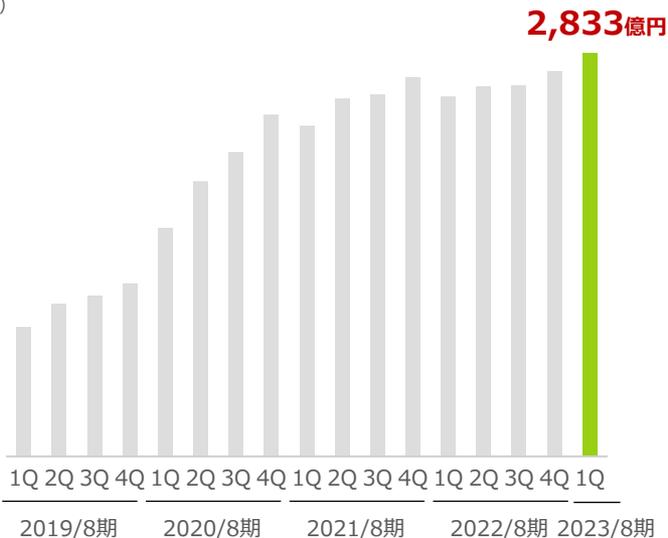
2023年8月期1Q キャッシュレスサービス事業の主要KPI

決済額は2023年8月期1Qで2,833億円となり、引き続き堅調に推移。

新規顧客獲得により、累計店舗数・累計エンドユーザー数ともに拡大している。

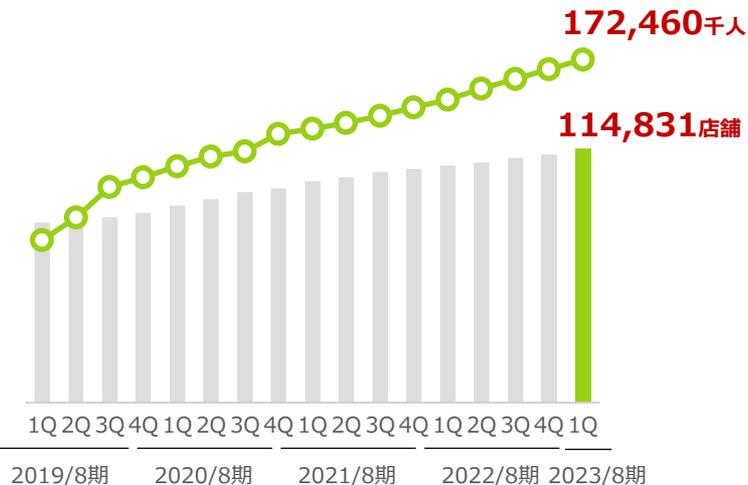
決済額推移

(億円)



累計店舗数・累計エンドユーザー数推移

(店舗：店、エンドユーザー：千人)



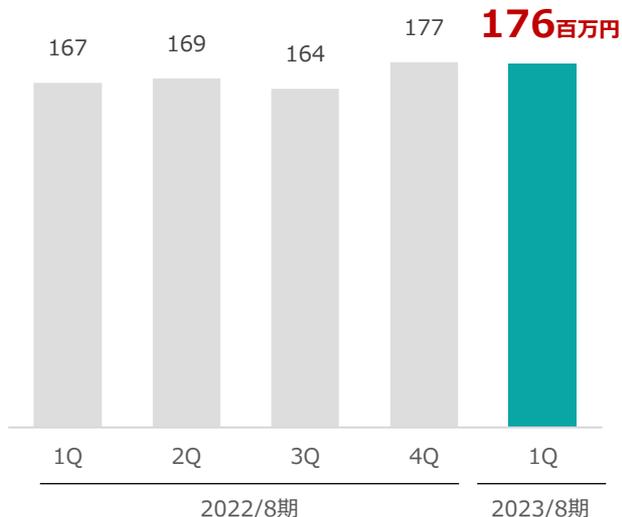
(注) アララとバリューデザインのKPIの合算値を記載

2023年8月期1Q ソリューション事業の業績

ソリューション事業として、メッセージングサービス・データセキュリティ・その他事業を統合。メッセージングサービスの売上高の増加等により、売上高、EBITDAともに堅調に推移。

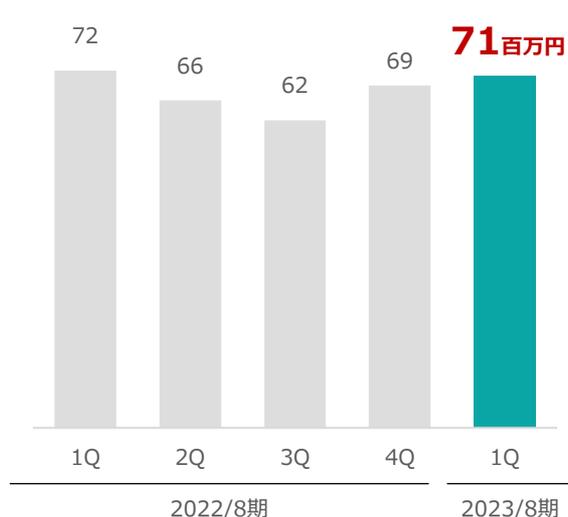
売上高推移

(百万円)



EBITDA推移

(百万円)

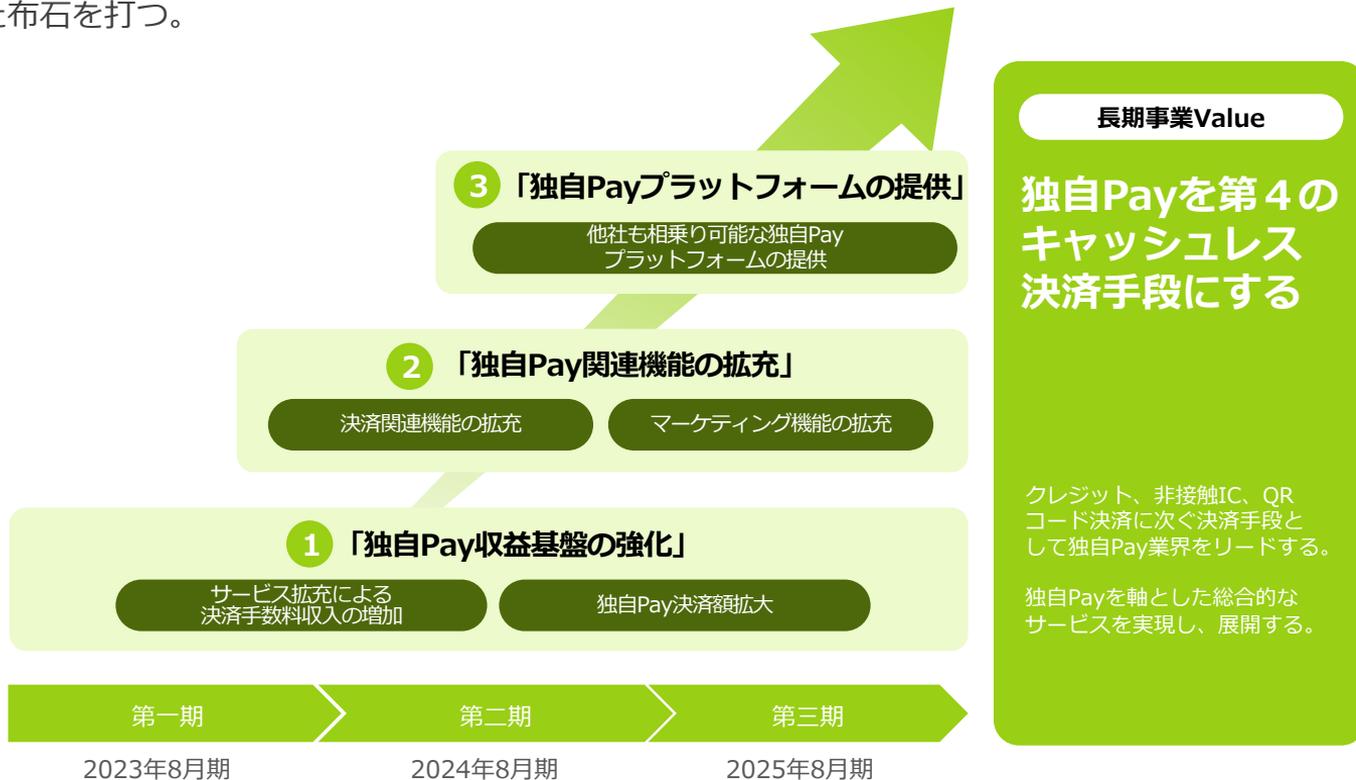


(注) 報告セグメントの変更に伴い、ソリューション事業のKPIを見直し、メッセージングサービス事業の「売上高」「顧客社数」及び「顧客単価」は今回から非開示

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 報告セグメントの変更
3. 決算ハイライト
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix

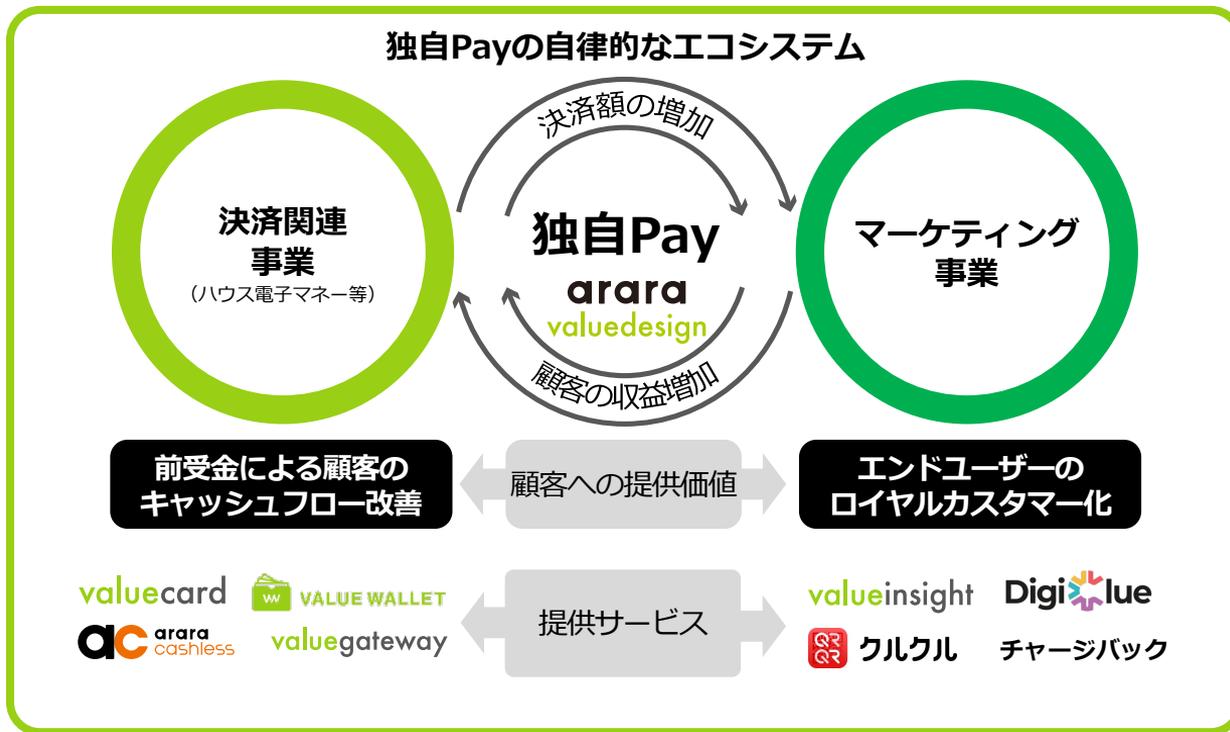
(再掲)キャッシュレスサービス事業 成長のロードマップ

当社のキャッシュレスサービス事業は、成長市場であるキャッシュレス市場において、国内シェアトップの独自Payを提供する企業として確固たるポジションを確立しながら、収益力を向上させる施策を推進し、さらなる将来に向けた布石を打つ。



(再掲)独自Pay拡大に向けた方針

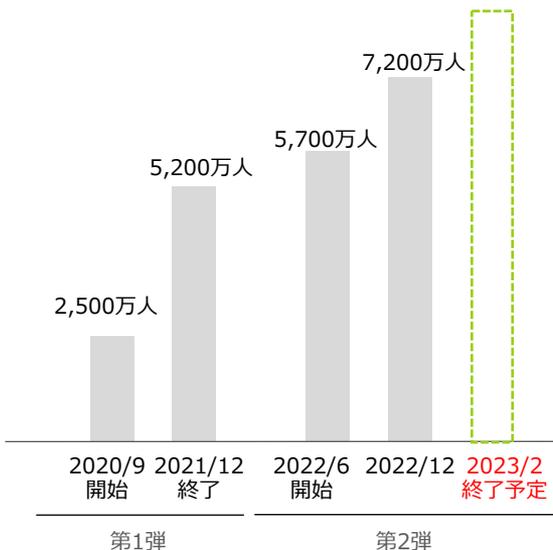
顧客独自の決済サービス「独自Pay」は決済とマーケティングの自律的なエコシステムにより拡大。
サービス拡充による独自Pay決済額拡大と決済手数料収入の増加など、独自Pay収益基盤の強化。



TOPIC マイナポイント事業による売上高増加

キャッシュレス・ポイント還元事業に続き、国が実施するマイナポイント事業でキャッシュレスサービスが連携。独自Payがポイント付与先となり、一時収益として1Qのマイナポイント関連売上高は当初計画を大幅に上回る。2022年12月にマイナポイント第2弾におけるマイナンバーカードのポイント申請期限が2度目の延長決定。

マイナンバーカード発行枚数



バリューデザインが支援するマイナポイント付与対象決済サービス企業（一部、順不同）



2022年8月22日発表プレスリリースより画像引用 (<https://www.valuedesign.jp/wp-content/uploads/2022/08/20220822.pdf>)

マイナポイント事業

マイナポイントを活用することで、マイナンバーカードの普及促進、消費の活性化や、キャッシュレス決済の普及を目的とする事業。2022年6月30日より開始された「マイナポイント第2弾」は、政府がマイナンバーカードの新規取得やマイナンバーカードを指定の用途で利用した消費者に対し、最大20,000円分のマイナポイントを付与。マイナポイントの受取は、マイナポイント付与対象決済サービスとして登録されたキャッシュレス決済から申請者が選択可能。

経営統合後のコスト削減策

年間 約1億円 のコスト削減

経営統合による定常的なコストの削減により、年間約1億円の想定

特に賃料削減や監査報酬の削減などによる効果大きい

2023年1月にバリューデザインの本社を移転。3月以降オフィス賃料減の効果あらわれる

コスト項目	進捗状況	概要	年間削減費用
オフィス賃料	済	<ul style="list-style-type: none"> バリューデザインの現オフィスを2023年2月末に解約。下期からオフィス賃料減の効果あらわれる。年間ベース77百万円を削減し、サテライトオフィスの契約により年間24百万円のコストが増額。差し引き約53百万円の削減 	53百万円
上場維持費用	済	<ul style="list-style-type: none"> 2022年5月30日にバリューデザインは上場廃止し、今後の上場維持費用が不要となる 開示や株式事務関連で年間計7百万円相当のコストを削減 	7百万円
役員報酬	済	<ul style="list-style-type: none"> バリューデザインの役員退任に伴って報酬分が減少 役員報酬で年間計19百万円のコストを削減 	19百万円
採用費	進行中	<ul style="list-style-type: none"> 統合によって本社機能の不足人員が確保できたことにより、採用予定であった採用費相当額を削減 採用費として計上予定であった年間10百万円のコストを削減 	10百万円
監査報酬	済	<ul style="list-style-type: none"> バリューデザインと合わせて定常的な年間報酬であった監査報酬50百万円を削減し、年間37百万円を監査報酬として計上予定、差し引き約13百万円の削減 	13百万円

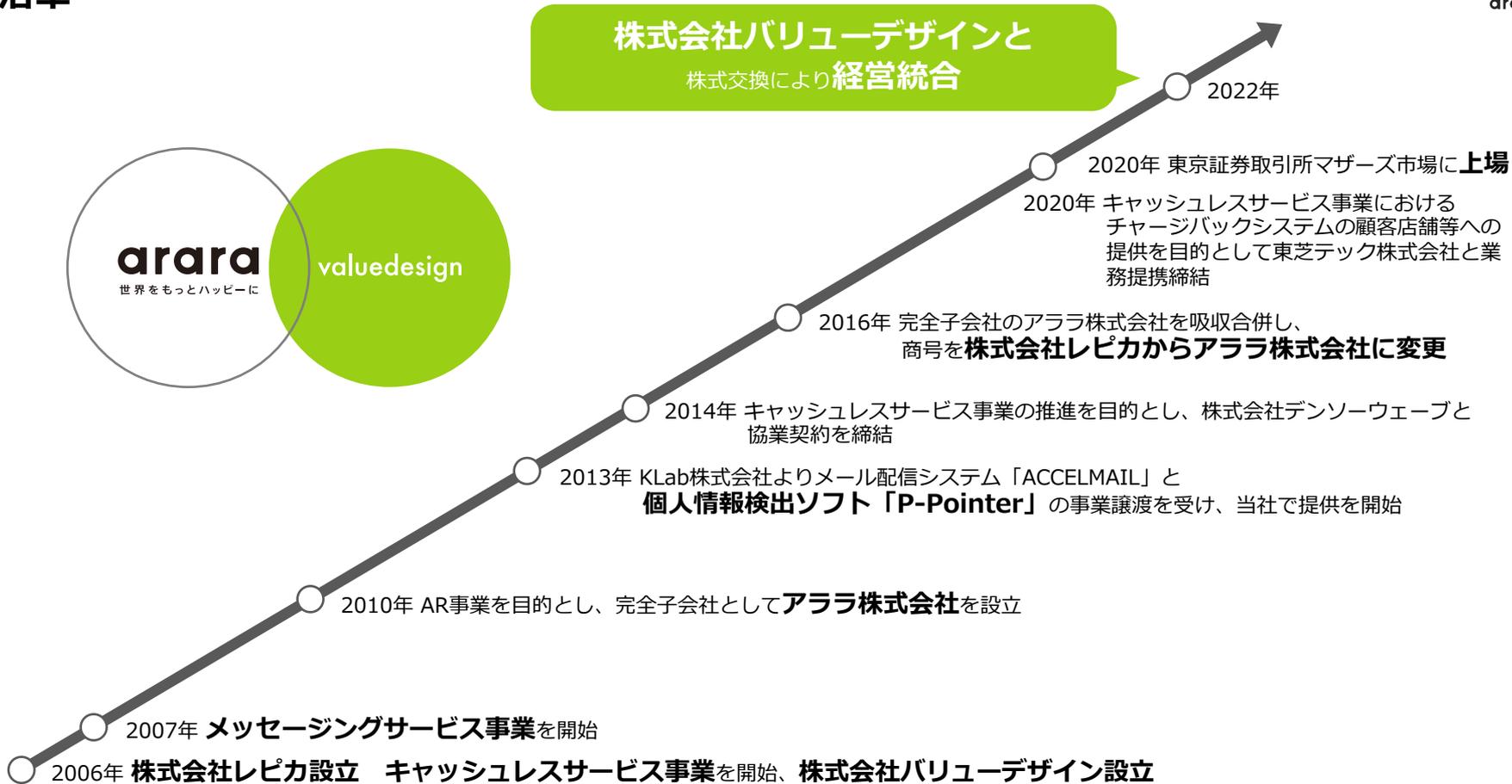
(注) 進捗状況は2023年1月13日時点

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 報告セグメントの変更
3. 決算ハイライト
4. 事業別業績・指標
5. 事業の取組み状況
6. Appendix



会社名	アララ株式会社			
代表者	代表取締役会長	岩井 陽介	代表取締役社長	尾上 徹
設立年月日	2006年8月			
役員構成	代表取締役会長	岩井 陽介	社外取締役	金子 毅
	代表取締役社長	尾上 徹	社外取締役	加藤 徹行
	取締役副社長	井上 浩毅	社外取締役	井上 昌治
	取締役	林 秀治	社外取締役	種谷 信邦
			社外取締役	米田 恵美
本社所在地	東京都港区南青山二丁目24番15号 青山タワービル別館			
資本金	694百万円 (2022年8月末)			

会社名	株式会社バリューデザイン	
代表者	代表取締役社長 林 秀治	
設立年月日	2006年7月	
本社所在地	東京都中央区京橋三丁目1番1号 東京スクエアガーデン14階 (2023年1月時点)	
資本金	100百万円 (2022年6月末)	
株主	アララ株式会社 (100%)	



重要指標等の定義

カテゴリ	用語	定義
重要指標	決済額	独自Payにおいて、アララ及びバリューデザインの決済額の合計
	顧客社数・導入企業数	当社のサービスを活用している顧客の数
	EBITDA	利払い前・税引前・減価償却前・その他償却前利益
	顧客	当社のサービスを活用する企業
	エンドユーザー	当社サービスを利用する最終消費者
	リカーリング売上	継続的なサービス提供等により、長期的に収益を得られる売上
	SaaS (Software as a Service)	クラウドサーバーにあるソフトウェアを、インターネットを經由して利用できるサービス
キャッシュレスサービス	独自Pay	キャッシュレスサービスを利用し、顧客が店舗の常連客向けに提供する特典や優遇サービス
	アララ キャッシュレス	独自Payの発行から販促、各種分析機能等をサポートする統合型キャッシュレス支援サービス
	チャージバック	メーカーの販促費を、エンドユーザーと顧客に独自Payで還元する販促サービス
	クルクル	QRコードを介して顧客の店舗が消費者へコンタクトできる情報配信サービス
	Value Card	キャンペーン提案からオペレーションまでサポートする独自ブランドのクラウド型電子マネー発行サービス
	Value Insight	POSの購買情報やアプリの利用動向等のデータを統合・分析するSaaS型のデジタルマーケティングツール
	Value Gift	メールやSNS等を通じてデジタル化された残高情報を送付できるデジタルコード発行サービス
	Value Wallet	独自Pay機能を搭載した店舗オリジナルアプリ
	Value Gateway	独自Payと同時に、各種QR等コード決済サービスの導入をサポートするサービス
ソリューション	アララ メッセージ	到達率向上・自動化・効果測定により円滑なメールマーケティングを実現するメール配信システム
	P-Pointer	PCやファイルサーバ内に点在する個人情報ファイルを検出する個人情報検出ツール

月次報告・メディアでの発信

2022年10月より、ホームページ上で月次業績報告の開示を開始。

四半期ごとの決算説明をIRTVにて公開。Twitterにて公式チャンネルや副社長の井上による情報発信を行っております。

月次業績報告



メディア・SNSでの発信



アララ【公式】
Twitter
@arara_inc



アララ副社長 井上
Twitter
@hao_inoue

本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望にも言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在しております。

既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。

当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、当記述を作成した時点において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものです。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等に基づいております。